

新城市民病院研修レポート

豊橋市民病院

研修医 2 年目

4 週間研修させていただきありがとうございました。私が研修させていただいた期間は COVID 第 6 波に重なってしまい、初診外来・救急外来・病棟管理、作手診療所での研修となりましたが先生方の手厚いご指導のおかげでたくさんのことを学ばせていただきました。

私が初期研修で外来をする機会といえば専ら救急外来のみであり、そこでは緊急性に重点をおいて診療にあたっており、その場限りの診察で終わってしまうことがほとんどで診察よりも検査に頼った診療となっていました。今回新城市民病院で初診外来を行わせていただき、これまでの診察がいかにもその場限り、その後の経過に関して考えていなかったことがよくわかりました。問診、身体所見から鑑別を考え検査をオーダーする姿勢は本来あるべき姿勢ですが、初期研修を行っていくうちにないがしろになっていたため、聞き損じも多く苦戦しましたが、毎日の振り返りを行っていく中でご指導いただき、鑑別の幅、検査前時点での鑑別に挙げる疾患のもっともらしさなどが磨かれました。また、外来で次回のフォローを行うことで治療に対する反応や病気の経過を学びました。特に、縫合処置を行ったあとの創部の治癒過程、腫脹・感染してこないのか、外来でフォローできたことは良い経験になりました。中でも救急外来で説明する洗浄が自分の思っているよりも患者さんには伝わっていなかったことは今後ほかのことで IC をするうえでも意識しないといけない点であることを学びました。

地域研修としては作手診療所での診察に同行させていただきました。作手診療所は作手地域唯一の診療所であり、採血や画像検査などがすぐに利用できない環境での診察になります。初診外来を通じて教えていただき、問診・身体診察から鑑別を考えて検査オーダーをすることの必要性をより強く感じました。時には緊急的に CT 検査等含めた診断が必要になりそうな疾患を高度な医療機関に送らないといけないこともあります。そういった疾患を疑う力は日々の外来診察や勉強会の時から養われているのだと感じました。自分の診察する姿勢を見直す良いきっかけとなりました。

4 週間と非常に短い期間の研修ではありましたが、先生方に厚く指導いただいたことを糧に今後の診療にも生かしていきます。新城市民病院の先生、看護師、薬剤師、作業療法士、理学療法士、検査技師、MSW さん、初歩的なことからたくさんを優しく丁寧に教えていただきありがとうございました。